



2026 SUPER FORMULA LIGHTS RACE REPORT

# AUTOPOLIS

Rd. 4 / 5 / 6

4.25 [sat] - 26 [sun]

[place] オートポリス (大分県日田市)

[weather] [sat] 晴れのち曇り [sun] 雨

[spectators] 14,600人 ([sat] 6,600人 [sun] 8,000人)

Rd.1/2/3	FUJI SPEEDWAY	MAR 28 - 29
Rd.4/5/6	AUTOPOLIS	APR 25 - 26
Rd.7/8/9	SUZUKA CIRCUIT	MAY 23 - 24
Rd.10/11/12	OKAYAMA	JUN 13 - 14
Rd.13/14/15	Sportsland SUGO	AUG 29 - 30
Rd.16/17/18	MOBILITY RESORT MOTEGI	SEP 12 - 13

## 天候に翻弄されたオートポリス大会は 梅垣清がRound5で3位表彰台。 急遽、参戦となった三浦柚貴も Round5とRound6でポイントを獲得。

2026年の全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権のRound4・5・6が、4月25日(土)・4月26日(日)にオートポリスで行われた。週末を通して不安定な天候のなか、TOM'Sの4台は上位を目指して奮闘し、梅垣清がRound5で3位表彰台を獲得。オスカー・ブルツはRound4で5位、アクシャイ・ボーラもRound6で6位に入り、それぞれポイントを獲得した。今回、急遽、参戦することになった#38 三浦柚貴(みうら ゆずき)は、着実にポジションを上げ、Round6では表彰台まであと一步となる4位でゴールした。



**RESULTS**

Race 4	
予選	6位
決勝	6位

Race 5	
予選	4位
決勝	3位

Race 6	
予選	6位
決勝	5位

QUALIFYING	Race 4	Race 5	Race 6
	P6/1'38.150	P4/1'37.543	グリッドは第4戦の決勝レース結果

RACE	Race 4	Race 5	Race 6
	P6/1'40.228	P3/1'51.924	P5/1'51.033

**35 梅垣 清** | KIYOSHI UMEGAKI  
モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

**RESULTS**

Race 4	
予選	5位
決勝	5位

Race 5	
予選	7位
決勝	7位

Race 6	
予選	5位
決勝	11位

QUALIFYING	Race 4	Race 5	Race 6
	P5/1'37.970	P7/1'37.825	グリッドは第4戦の決勝レース結果

RACE	Race 4	Race 5	Race 6
	P5/1'39.976	P7/1'52.899	P11/1'52.452

**36 オスカー・ブルツ** | OSCAR WURZ  
PONOS Racing TOM'S TGR-DC SFL

**RESULTS**

Race 4	
予選	8位
決勝	7位

Race 5	
予選	10位
決勝	DNF

Race 6	
予選	7位
決勝	6位

QUALIFYING	Race 4	Race 5	Race 6
	P8/1'38.773	P10/1'38.023	グリッドは第4戦の決勝レース結果

RACE	Race 4	Race 5	Race 6
	P7/1'40.285	DNF/1'52.633	P6/1'51.142

**37 アクシャイ・ボーラ** | AKSHAY BOHRA  
PONOS Racing TOM'S SFL

**RESULTS**

Race 4	
予選	7位
決勝	9位

Race 5	
予選	5位
決勝	6位

Race 6	
予選	9位
決勝	4位

QUALIFYING	Race 4	Race 5	Race 6
	P7/1'38.489	P5/1'37.673	グリッドは第4戦の決勝レース結果

RACE	Race 4	Race 5	Race 6
	P9/1'40.531	P6/1'52.312	P4/1'50.786

**38 三浦 柚貴** | YUZUKI MIURA  
モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

## QUALIFYING

天候:晴れ | 気温:20℃ | 路面温度:30℃

38号車の鈴木斗輝哉が今大会欠場のため、代役としてTGR-DCドライバーで、今季FRJにTOM'Sから参戦している三浦が出走することになった。木曜日と金曜日の練習走行では、半分以上のセッションが雨天となったが、積極的に走り込んでマシンとコースの確認をしていた。

前日までの悪天候から一転してドライコンディションとなった予選では、1回目・2回目ともにライバルに先行されたが、梅垣は2回目のセッションで4番手、三浦も5番手に続いた。ブルツとポーラはオートポリス初走行の為試行錯誤を重ねていたが、ブルツは1回目の予選で5番手、2回目で7番手。ポーラは1回目で8番手、2回目はコース上の混雑も影響し、10番手から決勝での巻き返しを目指す。



## RACE

Race 4 天候:曇り | 気温:19℃ | 路面温度:27℃

Race 6 天候:雨 | 気温:13℃ | 路面温度:15℃

Race 5 天候:晴れ | 気温:13℃ | 路面温度:14℃

ドライコンディションで行われた Round4 決勝 (21 周) では、ブルツが好スタートを決めて上位進出を狙ったが、順位を上げることができず5番手のままゴールしてポイントを獲得。梅垣が6位、ポーラが7位となり、スーパーフォーミュラ・ライツ初レースとなった三浦は9位で終えた。

雨模様となった26日(日)のRound5(14周)は、4番グリッドからスタートした梅垣がペース良く走り、7周目の上りセクションで3番手に浮上し表彰台を獲得。三浦も6位入賞を果たした。ブルツは終盤に1台追い抜いたがポイント圏内には届かず7位、ポーラは10周目の第2ヘアピンでスピンを喫しリタイヤとなった。

Round6(14周)は、序盤にアクシデントがあり4周目に赤旗中断となる波乱の展開となったが、スタートで大きく順位を上げた三浦が4位入賞、梅垣が5位、ポーラが6位となった。ブルツはセーフティカー中にコースアウトがあったため5秒加算のペナルティを受け11位となった。



Driver  
梅垣 清Driver  
オスカー・ブルツDriver  
アクシャイ・ボラDriver  
三浦 柚貴Team Director  
山田 淳

予選はコンディションの変化が大きくて、ライバルと比べてタイムを更新できないところがありました。決勝に関してはスタートが課題です。雨のセッティングをチームに仕上げてもらったので、レースペースは問題なかったのですが、スタートダッシュが良くなかったのが悔しいです。レース中に追い抜くのは難しいので、そこを改善しないとイケないです。次戦の鈴鹿はテストの時と季節が違いますが、臨機応変に対応できるようにしたいです。

金曜日の練習走行と比べて、予選では少し路面温度が高いコンディションになって、クルマのバランスが予想通りにならないところがありました。それでも1回目で5番手に入ってチームベストの順位で終えられたのは良かったです。決勝の1レース目は良いスタートが切れたのですが、うまくスペースを見つけることができなくて順位を上げられませんでした。日曜日に関しては2レースともポイント圏外でのフィニッシュとなり残念です。次の鈴鹿では走り出しから良い位置を確保したいです。

一部路面の舗装が新しくなっている部分は雨になると滑りやすくて難しかったです。最終セクターは非常にユニークだと感じました。予選はQ1で苦戦しましたが、Q2に向けてペースは良くなったと思います。しかし、トラフィックの影響でうまくいきませんでした。決勝に関してはペースは悪くなかったのですが、1レース目は前のクルマに接近するとダウンフォースが失われて抜くのが難しいですし、2レース目はコースオフがありました。次の鈴鹿はテストで走行経験のあるコースなので、それを活かして良いレースをしたいです。

初めてスーパーフォーミュラ・ライツのレースに出場しましたが、自分が今まで経験してきたカテゴリーとは異なり、予選ではタイヤのおいしいところが1周しかないの、本当にシビアだと感じました。その中でやれることはやれたと思いますが、順位には満足していません。決勝レースをいろんなコンディションで経験できたことは嬉しかったですし、レースごとに順位を上げることができて、個人的には良い経験ができたと思っています。同時に多くの課題も見つかったので、しっかりと振り返りを行い、次に活かしたいです。

厳しい週末でした。やはり予選で前にいないと決勝も有利に戦うことができないので、まずは予選でしっかりと速いクルマ作りをしないとイケないですし、それに合わせたドライビングをしてもらう必要があります。梅垣が2レース目で3位でしたが、まだまだなところはあります。アクシャイも2レース目はペースが良かったですけど、コースアウトがありましたし、オスカーも良い時とそうでない時の波がある状況でした。三浦は3レースを通して最も成長が見られましたが、もちろん課題はまだあります。

次の鈴鹿ではしっかりとポイントを獲得して最後までチャンピオン争いができるように頑張ります。

